



オキシトシン注射によって肥満症が改善

研究の概要

オキシトシンは脳視床下部で産生され、下垂体後葉から血中に分泌される古典的ホルモンで、女性、雌性動物の分娩、射乳に関わります。最近、その中枢作用として信頼・絆形成、摂食抑制作用が注目されています。

自治医科大学の矢田俊彦教授、前島裕子助教らは、マウスを用いた実験から、末梢（皮下）に投与したオキシトシンが、摂食抑制、抗肥満、内臓肥満に伴う健康障害（肥満症またはメタボリックシンドローム）の改善効果をもたらすことを明らかにしました。

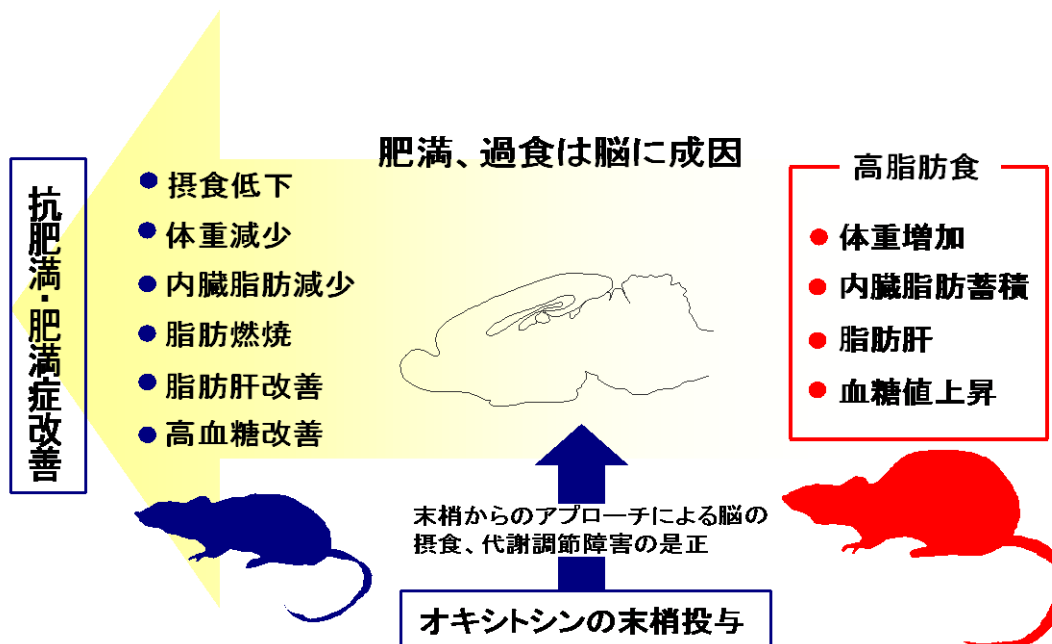
本研究結果は、ヒト肥満、肥満症、メタボリックシンドロームにおいても、有効で安全な治療法に向けた基盤となることが期待されます。

本研究結果は、2011年12月17日(米国東部時間)発行の米国学術雑誌「Aging (Albany NY)」に掲載されました。また、日経新聞(2011年12月21日夕刊)や読売新聞(2011年12月25日朝刊)で報道されました。

論文名

Peripheral oxytocin treatment ameliorates obesity by reducing food intake and visceral fat mass. Aging (Albany NY), in press (Dec 17, 2011 on line available).

参考図



高脂肪食により肥満とそれに伴う健康障害（肥満症）を起したマウスにおいて、末梢オキシトシン投与は、過食の是正、体重低下、内臓脂肪量低下、高血糖改善、脂肪肝改善、脂肪利用亢進を促し、抗肥満と肥満症改善効果を発揮する。末梢投与オキシトシンは、摂食・代謝中枢の視床下部と脳幹にシグナル伝達され、これが抗肥満効果発現の重要な経路となっていると考えられる。

平成24年度 第2回大学院医学研究科入学者選抜試験のお知らせ

《募集人員》 第1回、第2回試験合計

◆修士課程 [定員10名]

一般選抜

◆博士課程 [定員25名]

一般選抜、社会人（学外勤務者）特別選抜、社会人（学内勤務者）特別選抜

《出願期間》 平成24年1月23日（月）～平成24年2月3日（金）

《入学試験》 平成24年2月27日（月）

《合格発表》 平成24年3月16日（金）

募集要項等出願書類は、学事課（記念棟6階）にて配付しております。

なお、出願にはTOEICテスト（またはTOEIC IPテスト）の受験が必要です。本学で実施するTOEIC IPテストについては、医学研究科ホームページまたは学内の掲示等をご確認ください。

■問い合わせ先

〒329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-1
自治医科大学 学事課 教務第1係
0285-58-7477
graduate@jichi.ac.jp